

第 22 回

【テーマ別】

商業者、市民と市長のタウンミーティング

～吉祥寺地区の商店街振興～

報 告 書

○期 日 平成20年11月26日

○会 場 武蔵野商工会館

武 蔵 野 市

まえがき

武蔵野市では、市民が自らのまちを自らの手で創りあげていく市民自治の基本に立ち、市民と行政が協働でまちづくりを進めていくプロセスを大切にしたいと考えています。

そのひとつの手法として、市民と行政が「同じ目線」「双方向」で地域の課題や市政全般について、率直に意見交換を行う場として、「市民と市長のタウンミーティング」を開催しています。

このたび、テーマ別タウンミーティングの第4回目として、吉祥寺地区の商店街振興をテーマに、第22回「商業者、市民と市長のタウンミーティング」を、武蔵野商工会館において開催しましたので、その結果を報告いたします。

今後は、地域ごとのタウンミーティングとテーマ別のタウンミーティングを織り交ぜながら開催していくことにより、市民の皆様との意見交換をさらに深めてまいります。

概 要

1. 日 時 平成20年11月26日(水)
午後7時00分～9時00分
2. 場 所 武蔵野商工会館 4階 市民会議室
3. 主 催 武蔵野市、吉祥寺活性化協議会
4. 協 力 武蔵野商工会議所、武蔵野市商店会連合会
5. 参加者数 57人
6. 主催側出席者 市長 邑上 守正
吉祥寺活性化協議会会長 本田 拓夫
吉祥寺活性化協議会商業部会長 木村 征司
吉祥寺活性化協議会副会長 塚本 真史
武蔵野商工会議所会頭 稲垣 英夫
武蔵野市商店会連合会会長 金子 和雄
技 監 井上 良一
企画政策室長 南條 和行
環境生活部長 五十嵐 修
都市整備部長 檜山 啓示
生活経済課長 小島 祐一
吉祥寺まちづくり事務所長 郡 護
交通対策課長 北原 浩平
7. 司 会 企画政策室 市民協働推進課長 渡部 敏夫
8. 内 容 「吉祥寺地区の商店街振興」をテーマとした意見交換を行った。

目 次

1. 発言の要旨.....	1
(1) 開会のあいさつ	1
(2) 市長説明「吉祥寺グランドデザインの概要について」	4
(3) 吉祥寺活性化協議会 会長説明 「吉祥寺活性化協議会の取り組みについて」	7
(4) 「吉祥寺地区の商店街振興」をテーマとした意見交換(要旨)	11
1. 商店街と大型店の共存について.....	11
2. 放置自転車と駐輪場の確保について.....	12
3. 吉祥寺図書館周辺の放置自転車について.....	13
4. 地下駐輪場の設置について.....	14
5. ロンロンの荷捌き対策について.....	14
6. 元町通りにおける放置自転車と荷捌きについて.....	15
7. 地下利用について.....	16
8. 駐車場について.....	17
9. 住民からの提案について.....	17
10. JR中央線特別快速の停車について.....	18
11. まちにふさわしい商業機能の誘導について.....	18
12. 大規模開発等の情報提供について.....	19
13. 井の頭公園について.....	19
14. 観光推進計画について.....	20
15. ひとにやさしい商店街づくりについて.....	21
(5) 閉会のあいさつ.....	22
2. アンケートでいただいたご意見と市の回答・対応方針.....	23
3. アンケートでいただいた感想.....	26

4. 付属資料..... 27

- ・ 吉祥寺グランドデザインの概要
- ・ 今後の吉祥寺のまちづくりの展開イメージ
- ・ 吉祥寺駅現状図
- ・ 計画案における1階及び2階の機能分担イメージ模式図
- ・ 吉祥寺駅改良計画図（1階・2階）
- ・ 市内商店会一覧
- ・ 第22回「商業者、市民と市長のタウンミーティング」ちらし

1. 発言の要旨

(1) 開会のあいさつ

【市長】

皆様、こんばんは。夜分、お忙しいところをお集まりいただきまして、ありがとうございます。タウンミーティングも今日で22回目となりました。昨年までは、各地域のコミュニティセンターの皆様との協働事業ということで、地域の課題を中心に議論してきましたが、今年に入って、テーマ別にやってみようということで、商店街の活性化という視点から、中央地区と境地区をやってきて、いよいよ商店街のテーマとしてはラストの吉祥寺地区について皆様と議論を交わしていこうということになりました。



今は景気の問題で、大変厳しい状況と立ち向かわれていると思いますが、市としても様々な課題を受けて、できることはなるべくタイムリーにやっていこうということで、融資制度の拡充を前向きに議論しているところです。今日も記者会見がありましたので、融資についての一定の方向性をお示ししましたが、来週から始まる議会でも報告し、議会の皆様にもご理解いただいたうえで、すぐにでもその取り組みをスタートしたいと思います。

皆様方の商売の繁栄は、市としても大きな願いですので、厳しい局面を迎えられている方も多々いらっしゃると思いますが、ともにこれからのあり方を議論して、少しでも前向きに進むことを期待しています。

今日は2時間という時間ですが、まず、私と吉祥寺活性化協議会の本田会長から前段のご説明をしたうえで、吉祥寺の商店街の活性化について、皆様と意見交換を進めていきたいと思えます。いろいろな課題が出るかと思いますが、ここですべてが解決するとは思っていません。吉祥寺のまちづくりは常に進行形ですので、今日を機に、さらに前進をしつつ、また、課題解決に向けて、ともに取り組みを進めていきたいと思えます。最後まで、どうぞよろしくをお願いします。

【吉祥寺活性化協議会 本田拓夫 会長】

皆様、こんばんは。月末の近い大変お忙しい中、また、大変景気の悪い中、今日は吉祥寺の商業振興について語るということで、市長と市民の皆様、それから商業者の方々が一堂に会して、こういう意見交換をする場を設けさせていただいたということは大変有意義なことだと思います。吉祥寺の商業振興や活性化を語るのに、2時間程度では、とても終わらないと思えますので、これを機会に、第2回、第3回と続けていければよいかなと思います。今日はよろし



くお願いいたします。

【武蔵野商工会議所 稲垣英夫 会頭】

皆様、こんばんは。今日は、「商業者、市民と市長のタウンミーティング」ということで、私は三鷹地区と武蔵境地区も出ましたが、かなりの温度差がある中でやることになろうかと思えます。



今、大変厳しい状況にあります。この吉祥寺については、荒井市長から都市計画が始まって、その後、後藤市長、藤元市長、土屋市長、そして、邑上市長と引き継がれてきましたが、今のまちが形成されてもう30年近くになるかと思えます。その間、ハード面は全然変わっていません。吉祥寺活性化協議会ができたり、ウェルカムキャンペーンを実施するなど、ソフトについてはかなりの部分でやっていますが、ハードについては変わっていない状況の中、その間、平成9年に「グレーター吉祥寺21計画」の策定ということで、吉祥寺のまちをどうするかということをやっていたのですが、それもペンディングになってしまいました。その後、平成13年に、三菱総研から、「吉祥寺新時代100万人生活都心構想」という提言を受けましたが、それも保留になってしまったという状況がありました。

これでは困るということで、土屋前市長のときに、吉祥寺グランドデザインがスタートしました。これもかれこれ2年やって、もう3年たちます。その中で早急に取り組まなければならない部分、中期にやらなければならない部分、長期にやらなければならない部分を提言しましたが、駅舎の改築、自由通路の整備、荷捌き、駐輪場なども、このとき早急な問題として取り上げています。市が、長期計画を見直して、調整計画を策定しましたが、今回のことをさらに参考にしていただいて、その中で、今後、取り組みを進めていただけないかと期待しています。

私は、昨日、都市計画審議会でも、鹿児島市に視察に行ってきました。大変にぎわっていた天文館通りが、8年前と比べて、店舗が45%も減っていました。もうがらがらで、シャッターを閉めている商店もありました。これは、イオンが出店したために、皆そちらにとられてしまったという状況とのことでした。鹿児島市としては、中心市街地活性化法の認定を受けて、今年から天文館通りの商店街で年間70回のイベントを行うというようなことで、当時のにぎわいをもう1回取り戻したいというお話が副市長からありました。

とにかく経済環境は大変厳しく、商工会議所としては、11月20日に、早急に経済対策を市にお願いしたいということで、9つの提言をしました。そのうち、早速、市長の話がありましたが、商工会議所には、小規模事業者の方々に1,000万円まで無担保無保証で融資をする制度があり、この利息は2.15%ですが、そのうちの1.25%を市のほうが補償してくれるということで、0.9%を借り入れる方がお支払いするということになります。市のほうも、いろいろとやっていただけないということで、商工会議所もこのまちの活性化のために、今後も取り組みを進めていきたいと思えます。今日はよろしくお願ひしたいと思えます。

【武蔵野市商店会連合会 金子和雄 会長】

皆様、こんばんは。私も吉祥寺出身なものですから、今日は非常に期待しています。この会場には、商店街のリーダーの方々がお集まりです。リーダーの中のリーダー3人が市長と一緒に並んでいると、少しやりにくいかもしれませんが、ぜひ皆様、忌憚のないご意見をいただき、この機会を有効に利用しまして、すばらしい吉祥寺をつくっていきたいと思います。どうぞ、今日はよろしくお願ひします。



(2) 市長説明「吉祥寺グランドデザインの概要について」

※説明資料（吉祥寺グランドデザイン概要・吉祥寺駅改良図面等）は、27 ページ以降に掲載しています。

【市長】平成19年3月に策定しました「吉祥寺グランドデザイン」については、もうご承知のことと思いますので、確認だけしまして、市がどの程度、取り組みを進めているのかを説明します。

I. 吉祥寺グランドデザインについて



吉祥寺グランドデザインとは、総合的なまちづくりをどのようにしていくかという大きなベースとなる考え方として、「基本的な方向性」として、「商業と人々の生活が一体となった『我が街』としての成熟」「行ってみたい街」「住んでみたい街」としての広域的な魅力の維持・創出と都市観光の推進」を大きく吉祥寺の目指す基本的な方向と位置づけています。

まちづくりの柱として、4点ほど設定していますが、1点目は「商業環境と豊かな居住環境が調和・連携した街」であるということ、他の繁華街とは違い、すぐに居住環境が繋がっているという特性を最大限生かしていこうという柱です。2点目で、コンパクトな街であり、歩いて楽しめる街ということから、「巡る楽しみがある街」ということを掲げています。3点目は、吉祥寺の皆様方が今まで積み重ねてこられた「上質な買物環境のある街」を継承して発展させていこうということです。4点目は、常に先端的な文化を育て、発信してきましたので、「独自文化育み発信する街」として、今後も大いに発信していこうということです。

「今後取り組むべき主な施策」について、「北の成熟、南の再整備」というテーマがですが、「早急に取り組むべき重要施策」として、「要となる駅の改善」の中では「駅からまちへの動線の改善」「駅南北自由通路の整備」を、「まち全体に関連する緊急課題への対応」の中では「荷捌き対策、駐輪対策」「まちにふさわしい商業機能の誘導」「屋外広告物等の景観阻害要素の整序」「サイン計画等による回遊誘導」を図っていくことを掲げています。

最後に、中長期に「今後取り組むべき施策」として、「南口周辺の地区再編」の中では、「駅前広場の整備」「周辺再開発等」を、「セントラル地区の更新」の中では、「ハモニカ横丁のまちづくり」「回遊の拠点となる広場整備」「必要な基盤整備(地下利用検討)」を掲げています。さらに、「地域全体が一丸となった継続的なまちの環境の維持・向上」の中で、「街並み形成」「緑化誘導」「適切な土地利用誘導」「イベント展開」等を進めていこうと掲げています。

II. 吉祥寺駅の改良計画について

今の課題の中にありましたが、「要となる駅の改善」については、この間、さまざまな議論がありましたが、ようやく鉄道事業者から計画図面を公表してよいという話があり、先般の市議会建設委員会でも説明しています。吉祥寺駅は、南北を行き来するのに狭い、くねくね

とした迷路のようなところを行かないと通れないことから、1階部分に、もっと幅広の南北通路ができないかという課題があります。北口から南口になるべく幅広の通路を設けていこうということで、この間、JRと京王電鉄と協議が整っています。幅約16mの通路が確保されますが、混雑の解消になってくる、そして南北が行き来しやすくなっていくと思われま

す。また、吉祥寺駅は、エスカレーターが少なく、バリアフリー化の進んでいない駅でした。そのバリアフリーを整備するにあたっては、全体の耐震補強工事をしないといけないという、大がかりな取り組みが必要となり、具体的には、JRの駅舎や、ユザワヤが入っている京王電鉄の駅ビルを大改造しなければいけないということになっています。JRの駅ビルについては、耐震補強の設計がある程度進んでいますが、京王電鉄の駅ビルについてはまだ改造計画が明らかになっていません。会社の方針として、2010年以降に建物を建替えていくということですが、その建替え後の中身についてはまだ公表の域に達していません。市としては、吉祥寺の駅にふさわしい、JRと京王が一体となった駅舎づくりをこれから調整していきたいと思っています。



※吉祥寺駅改良計画図面は、付属資料(27ページ以降)をご参照ください。

駅舎のわかりやすい動線を確認する中では、現在、JRの一番大きな改札口の中央口を降りて、そこから井の頭線になかなか行かれない、あるいはそこを降りると井の頭公園がどこにあるのかわからないといった課題もあります。鉄道会社の計画では、2階にすべて改札口を設けて、その周囲に通行可能な通路を確保することになっています。改札口を出たところに、案内サインをきちんと示せば、北口・南口が明らかになるし、井の頭線と京王線と中央線の乗りかえもスムーズになるということで、この計画を進めていくことになります。

鉄道会社も、今回の駅舎づくりについては、いろいろな点で配慮されていて、例えば、ガード下が裏道的で、薄暗い景観になっていますが、それをもっと表としての顔づくりをしていこうということで、高架下に化粧板を貼ったり、しつらえをきれいにしていこうという話も聞いています。

吉祥寺駅南口の駅前広場の整備という大きな課題もありますが、現在、地権者の皆様と協議をしているところです。あわせて京王電鉄の駅ビルを建替える際には、なるべくセットバックをしてもらって、ゆとりある駅前空間をつくってもらいたいということで、1階部分のセットバックのライン等については、ある程度下がったところで協議が整っています。

今後このような大規模な改造になりますが、駅を利用しながらの改造ですので、4～5年はかかると言われていています。駅というのは、めったに改造されませんので、市としてもこれからも大いに意見を言っていきたいと思っています。

Ⅲ. 駐輪場等の地下利用について

もう1つ報告しておきたいのは、地下利用の問題です。皆様からも、地下利用の検討はどうなったという話をいろいろなところでお聞きしています。1つは駐輪場の問題で、地上部

分の用地確保が難しい状況ですので、地下利用はこれからの吉祥寺で大きなキーワードととらえていまして、この間、地下の利用の可能性について検討を進めており、検討の中で、一定程度、地下利用の可能性のある場所が出てきました。ヨドバシカメラの前の道路、駅前広場、平和通りの下など、これらの地下空間は埋設物が少ないので、利用可能性があるだろうというところまで来ました。

さらに昨年から今年にかけて、例えば、駐輪場、駐車場は、どのような空間で設けられるかということの仮計画を行いまして、かつ、事業費等の概算をしています。さらに、その費用対効果があるのかどうか、また、地下ということから、維持管理費もかかってきますが、その辺を含めて、どのような実現の可能性があるのか、議論しているところです。



ただ、方向としては、地上部の駐輪場を何とか改善したいということもあり、何らかの形で駐輪場を先行的にでも整備できないかということも含めて、庁内で議論をしているところです。さらにこの検討を進めて、なるべく速やかに地下利用の実施に移れたらと思います。

あわせて、吉祥寺の課題として、荷捌きの問題があります。吉祥寺活性化協議会の塚本副会長に大変ご努力をいただきまして、今年から吉祥寺方式の荷捌きに関する対策委員会も発足して、具体的な議論を進めていただいていますので、当面はその議論を踏まえて、吉祥寺ならではの荷捌きの仕組みを確立していきたいと思えます。

吉祥寺グランドデザインで位置づけた早急に取り組むべき事業施策については、それなりにスタートしています。それをさらに姿形にしていく段階では、我々の努力と皆様のご協力も必要ですが、絵がだんだんと描けてきましたので、一步一步前に進んでいきたいと思えます。

(3) 吉祥寺活性化協議会 会長説明「吉祥寺活性化協議会の取り組みについて」

【吉祥寺活性化協議会 本田拓夫 会長】

吉祥寺については、行政・商工会議所・商店会連合会の協力をいただかないと活性化していかないということがあります。まして、南北商店会が多数ありますが、これを全部活性化することは大変なことです。まして吉祥寺は30数年の間に成熟したまちで、もう一度活性化することは、並大抵のことではありません。東に新宿、渋谷、池袋があり、西に立川があります。地域間競争になって、吉祥寺が何をしてい



けば勝っていけるのかも考えながら、ランドデザインとは違った、商業者として、今日、明日、何が必要なのかという、切実なことを吉祥寺活性化協議会は考えています。

吉祥寺ランドデザインの進み方が遅いと、皆様から「何をやっているんだ」という意見が出てくる場合もありますが、实体经济を支えているのは商業者ですので、そういう点でなかなか思うように行政と合致して、地域を開発、まちづくりをしていくということは大変難しいです。それでもやらなければならないというのがこの協議会の主な取り組みでして、犬や猫のこともやっています。

駅改造についても、問題提起を出し、要望書を出して、吉祥寺の駅だけがよくなればいいのかと提言しています。30数年かけてきた商店街がだめになってもいいのかということから、駅の方たち、JRの方には要望を聞いていただきたいということで、反対ということではなくて、まちづくりに協力いただきたいということでお願いをしています。

商工会議所の会頭、商店会連合会の会長からも協力いただいています。商業者は、昨日までよかったとしても、突然こういう金融恐慌に始まり、これがいろいろな面にじわじわと真綿で首を絞められていくような状態になり、今まではよかったが、今後どうするんだということになったときに、すぐにパチッと転換することができなくなっています。

今日も「ああ、まいったな」と思ったのは、三鷹市で、1万円で千円お得な10%分のプレミアム付の市内共通商品券が発売されたということです。これは三鷹に先を越されてしまったということも反省点として考えながら、今後の吉祥寺の振興についても、細かいところにも手を出さないといけないところに来ているのだと思いました。活性化すればいい、いろいろなものをつぎ込めばいいということから、急遽そうではないようなところに来ているのではないかと思います。こういうときに、吉祥寺活性化協議会は何をするんだということになると、皆様と一緒に力を合わせて、「吉祥寺はすごい、さすがだ」と言われるような、違ったイベント展開をしなければいけないかと考えています。

買物に関しても、もう少し小回りのきいたことを考えないといけません。お子さんを抱えられた方たちのために、育児ができるような場所もつくっていかねばいけないとか、あらゆる方面で吉祥寺活性化協議会は取り組まなければならないのです。



この協議会の事の起こりは、1990年代前半に、新宿をはじめ、立川や国分寺に、新たに大型商業施設の出店計画が出始めた状況の中で、吉祥寺はそれらに対抗していかなければならないというところから、平成3年に協議会が設立されたと聞いています。

主たるメンバーは商業者、大型店、企業、各種団体、個人の方も含めて、大いなるまちづくりに向かっていこうということで、成熟された商業地域にはなりましたが、何か欠けている部分があるのではないかと思います。物を売ったり買ったりするだけでいいのかということから、私は本業が映画館でして、文化性をもう少し取り上げたほうがいいのではということで、吉祥寺グランドデザインにあるように、独自の文化は吉祥寺の誇りだと、買物も文化も一緒に持って行ってくださいと。これは立川にも負けたくない、新宿・渋谷のああいふ騒然たるまちの中にでき上がった文化ともまた違ふと。そういうことで、吉祥寺独自の文化性を保つことが、吉祥寺の活性化の1つになるのではないかと思います。



アートピクニック2008（井の頭公園）

もちろんまち全体がいろいろと発展しなければいけません。井の頭公園という大きな自然をなぜ生かそうとしないのか、今のままの井の頭公園でいいのかということ、2年ぐらい前からテーマを絞ってきていますが、公園が100周年まであと9年です。第1弾で、昨年公園の中の「アートピクニック（※）」をやりました。今年もやりました。井の頭公園の池の水をもっと昔のように、きれいにしたいということも、あと9年のうちにできるでしょう。

また、井の頭公園の動物園は、北海道の旭山動物園に及びません。公園の中の有名な水族館を今の子供は知らないのではないかと思います。今の小さなお子さんは、サンシャインの水族館など、大きな水族館に慣れていきますから、井の頭公園の水族館も大型化して、作り直していただいたほうがいいかもしれません。あるいは、公園の中に、吉祥寺が目指していますアニメタウンの象徴として、テーマパークなど、アニメ関係の業者に集まっていって、アニメを活性化すればいいという考えもあります。お隣にジブリの森の美術館があります。すでにある吉祥寺の独特の要素を大事にしなが、まちを活性化していくということも1つのやり方です。

（※）アートピクニック…ニューヨークのセントラルパークなどから始まった、都会の賑わいを創出する「パークピクニック」の日本版としての企画。井の頭公園から生まれたアーティストが中心となり、コンサートや各種イベントが行われる。平成20年は、11月1日から2日まで開催された。主催は、井の頭公園が開園100年を迎える平成29年に向けて、地域と連携して公園のあり方を考え、行動するために、市民・関係団体・行政が参加して、平成18年に発足した「井の頭恩賜公園100年実行委員会」。

コンパクトシティという言葉がありますが、吉祥寺は路地裏文化です。路地裏がいっぱいあるまちは、どなたにも好まれる住みたい街ナンバーワンの一つの要素にもなるし、交通の便もよいので、多くの人を訪れます。そういう意味でも、公園が完全に定着化されています。エコの問題についても、公園の緑化をもっと進めるなど、吉祥寺の3分の1を占める公園が必ず環境をきれいにしてくれる場所になればということも考えられます。

井の頭公園は、東京都のものです。一昨年までは、武蔵野・三鷹で共催するようなイベントがなかったことが、邑上市長と三鷹の清原市長が話をされ、昨年からは井の頭公園で始まりました。これは画期的なこととして、少子化になり、人口が減っていくときに、武蔵野だけで成り立つわけではないのです。これからは三鷹も境も含めてやっていく時代です。そのためには武蔵野市の誇りとなるものを大きく活性化するのも、協議会としての役割かと思えます。幸い、南北の商店会の会長に助力をいただいています。サンロード商店街の理事長の木村さんに商業部会の部会長になっていただき、平和通りの理事長の塚本さん筆頭に4名の方に副会長になっていただき、商店街かくあるべきという話を月1回の幹事会でしています。春秋のイベントだけでなく、夏祭りや秋祭りのお手伝いもしています。

『グーグーだって猫である』という映画が今年封切られたんですが、これは吉祥寺を舞台にしたロケとして、この映画を見ると吉祥寺がよくわかるということから、これを皆様に応援していただいた結果、全国の約300近い映画館でこの映画が上映されていました。この映画を見て、「吉祥寺知ってるよ」「行ってみたいね」「もう一度行きたいね」ということで、来たときに、「ああ、この店、あったわよ」という話ができる流入人口が増える、そして実体経済も伴うという、そういうことも1つの活性化のやり方ではないかと思えます。

そのほかに、秋の公園での「アートピクニック」、それが終わりますと、11月3日が点灯式でしたが、駅前できれいなイルミネーションをやっています。イルミネーションはどこでもやられていますが、吉祥寺の1つのポイントであるということで、それが観光につながるのではないかと思います。この中で年末の12月28日から、「武蔵野吉祥七福神めぐり(※)」の七福神がイルミネーションの中に取り入れられます。商工会議所の商業部会で作り上げた七福神めぐりを応援しようではないかと考えました。いろいろなことをやるだけではだめで、1つのいいことはみんなで応援して行って、もっと高めようということも考えた結果、イルミネーションが定着してきているということで行うこととしました。



吉祥寺駅北口のイルミネーション
(武蔵野吉祥七福神を取り入れたもの)

(※)武蔵野吉祥七福神めぐり…「賑わいのあるまち」「活気あるまち」創出の一環として、平成19年から開始。市内の寺社やバス会社の協力を得て、約30分間隔で特別バスを運行し、武蔵野に点在する寺社を巡る。平成21年は、1月1日から10日まで実施された。主催は、武蔵野商工会議所。

実体経済は厳しい状況にあり、常に今日、明日、明後日のことを考えなきゃならない商業者たちは必死です。今日は商店街って一体何だろうというような方もいらっしゃると思うんですが、市民としての要望は、「早く駐車場をつくってよ」「駐輪場つくってよ」「こんなまちでいいの」というようなことで、商店街は何をやっているんだというお声もあるかもしれませんが。商店街は、かたまりは大きいですが、実際は、あまりお金がないということから、商店街独自の駐輪場、駐車場を持たなければいけないんですが、それもできません。これはやはり行政と一緒にやってやらなければならない問題ですが、地下利用に関しても、これは昔からそういう問題は出ているんですが、ようやくそういう声が高くなってきて、もう具体的



に始めなければ遅いというか、もう既に遅れをとっているわけで、市のアンケートの中では、一番苦情の多い問題だったはずですよ。

それと同時に、商業者として、活性化協議会の塚本副会長が行っています交通問題は大変な状況になっています。自分のところの車を表に出しているわけではなくて、荷捌きをする車が1日何台来て、どこでどう停めて、どうやっているのかということに関しては、通常、商業者が知っているわけです。しかし、それすら知らない吉祥寺の商業者は、胸を張ってはいられないということから、塚本副会長は警察の方と協議を重ねて、来年の春頃から吉祥寺方式という形で荷捌き車を何とかクリーンにしていくということまで、たどり着きました。商業者でありながら、まちづくりを皆様と一緒に考えています。

商店会の会長は、何をやっているかわからないと言う方もいると思いますが、自分の仕事を投げ打って、まちのことを一生懸命考えています。そういう方たちが協議会で集まって、毎月会議を開いているということで、ぜひとも皆様のご理解をいただきたいと思います。協議会は、ただイベントをやっている団体ではなくて、イベントを通してまちのあり方を探り、まちの発展を望み、明日への経済に高めていこうということを目指しています。行政の力のようなものは持っていませんが、商業者の集まりというのは、皆様の生活に結びついていることが多いので、明日のためのまち、商店街はこうだ、ああだということは毎日のように議論百出して、話し合っているわけです。どうぞ、その辺もご理解いただきながら、よろしくお願いをしたいと思います。

(4)「吉祥寺の商店街振興」をテーマにした意見交換(要旨)

1. 商店街と大型店の共存について

【吉祥寺活性化協議会 木村征司 商店部会長】

サンロード商店街の木村です。先日、商店街に日本経済新聞の小売業部門の担当者が来て、なぜ吉祥寺のまちはこんなに大型店とうまくいっているのかという質問と、もし東急・伊勢丹が吉祥寺から撤退したら、まちの人はどうお考えになるのかという質問を受けました。吉祥寺は、なぜうまく大型店と共存して繁栄してきたかというのは、我々の上の世代から、「お客様を集めるのは、大型店のほうがはるかに力があるので、地元は大型店を拒否しないでウェルカムで迎えて、そのお客様として来た人たちに回遊していただいている中で、自分たちの店の個性を出して頑張ろう」という話を聞いて、吉祥寺のまちづくりをやってきました。



大型店の方々にも、知恵を出していただいて、汗もかいてもらい、また、まちのイベントなどを企画したときには、お金も負担していただくという、この3つの決まりごとをお願いしてきました。吉祥寺には、昭和44年に駅ビルができました。雨が降ったりすると、お客様がみんな駅ビルへ流れてしまうので、何とかしなければということで、サンロードが昭和46年にアーケードをつくって、お買物をしていただく、安全安心で快適な商業空間をつくることを上の世代がやってきました。それが吉祥寺のまちの一番大きなことだと思いますし、それから今、我々がやっている吉祥寺活性化協議会ができて、大型店の皆様にも、まちづくりに関わってもらっています。もし東急と伊勢丹が抜けたらということは一切考えないで今はやっていると言いました。その撤退ということを考えると、我々、一商店会では、なかなか対応できません。

そういう中で、一番心配しているのは、吉祥寺のまちがオーナー化してきていることです。昔は我々が対面でお客様と接して、やはり何かおもしろいまちだと思われていたんですが、これが今オーナー化されてきて、テナントの多いまちになってきているので、私はサンロードオーナー会をつくって、オーナーの方たちにお客様が、安心して安全にお買物ができる商業空間をつくるために、ぜひまちに投資してほしいと言いました。今、他の商店会も、オーナーになっている方が多くなってきているわけですから、まちづくりにも積極的にもの言ってもらいたいと思います。

【吉祥寺活性化協議会 本田拓夫 会長】

木村さんには吉祥寺活性化協議会の商店会部会の部会長として、大型店と商店街との調整役をお願いしています。これからお話しします塚本さんは、特に交通問題に関してお願いをしています。協議会としましても、吉祥寺が今抱える問題、交通の問題と、実は情報発信が全く下手な吉祥寺という、そういうことを早く解消したいと考えています。

2. 放置自転車と駐輪場の確保について

【吉祥寺活性化協議会 塚本真史 副会長】



ご紹介いただきました平和通り商店街の塚本です。私のほうから、1つ質問します。吉祥寺で今一番大きく抱えている問題の1つは、自転車問題です。昔は都内でもワースト1に選ばれるような、非常に悪い状況でしたが、その後、市の努力により、駐輪場を年々増やしていただいて、よい時代もありました。しかし、ここ数年来、街中に自転車があふれているという状況です。

乗り物としては、自転車ほど乗りやすいものはないということで、今後も減ることはないと思います。自転車は1万円以下で買える時代になってきました。ガソリンが高くなってくると、ますます自転車に乗る方が増えてくると思うんですが、現状は、歩道の半分は自転車で占拠されています。せっかく3.5~4.5mもある歩道ですが、半分は自転車で占められています。吉祥寺大通りなどは、通勤・通学の人たちの自転車を置くために市が認めて置かせているという状況になっています。

私どもとしては、お買い物に来る方の自転車については、これから真剣に考えていかなければならないと思います。通勤・通学はもちろんですが、お買い物に見える主婦の方々は、重たいものを買って帰られるときには、手で荷物を持つのではなくて、自転車で持ち帰りたいでしょう。こういうお客様が安心してお買い物できる駐輪場が大事だと思います。

そういう点で、地下を真剣に考えるというお話がありました。三鷹駅南口では、既に地下駐輪場を幾つかつくっています。これは、入り口に自転車を入れますとそのままずっと地下へ入っていく、割合と簡易的な駐輪場ですが、こういうものを是非とも市は早急に考えていただきたいと思います。市長から、吉祥寺大通り・平和通り・駅前広場に地下利用の可能性があるとご提案がありましたが、地下を利用して、駐輪場をつくってほしいと思います。

【市長】

武蔵野市の地形はフラットですから、自転車が利用しやすいまちです。特に自転車の乗り入れ台数から言うと、三鷹駅が都内で1番で、1万数千台集まってくるんです。ベスト10の中に吉祥寺駅が4位、武蔵境駅も10位に入っています。武蔵野市の三駅周辺は、都内でも極めて多く自転車が集まってきます。しかし、その集まってくる自転車に対応した駐輪場の数は、足りていません。市も今までずっと駐輪場の確保を懸命に行ってきましたが、なかなかこのような地価ですと、買い求めることがしにくい現状です。

そもそも駅は鉄道事業者の駅でもありますので、我々だけではなくて、鉄道事業者にも大いに協力を要請しなければいけないということで、この間、要請もしています。現に今、高架化が武蔵境駅から西に進んでいます。高架下の利用という中では、相当の駐輪場の設置をこれから鉄道事業者に要望していこうという考え方を持っています。

吉祥寺でも1万台近い駐輪場がありますが、多くは通勤・通学客で早くから埋まっています。午前中は、放置自転車が少ない時間として、放置自転車の調査を午前中に行いますと、過去に比べると激減しています。これは市の撤去も効果を上げているわけですが、午後

の買物客の時間帯になると、大きく増えます。買物客だけではなく、高校生の自転車もあります。予備校がこの吉祥寺界隈で増えてきて、予備校を利用する学生の自転車も歩道を占有しているケースが多々見られます。

通勤・通学客だけではなく、むしろ買物客の駐輪場を確保していかなければいけないと思いますが、市もさることながら、地元の商店街の皆様にも協力いただかないと、なかなか難しい面もあります。

スペースの問題から考えますと、地下利用が大きく期待されまして、道路の下は線的な広がりがあります。三鷹の「すずかけ駐輪場」は、地下を円筒形にくり抜いて、そこに機械式の駐輪スペースを設けていくということでした、ある一定の広場の面積が必要になります。そういう面積が確保できる場所がないか探している経過もありますので、そういう場所の紹介、提供していただく方があれば、なおよろしいのですが、そういうことを含めて、市としては前向きにとらえています。



既存の駐輪場についても、平場で置くとそれほど駐輪スペースを確保できませんので、今、第一ホテルの裏の「吉祥寺第6駐輪場」の立体化を進めています。3月末に立体化が完成する予定ですが、約460台規模の駐輪場が確保できますので、一定程度の買物客の利用にも対応できると思います。

ビルの中を利用できないかという考えもあって、なかなかテナントが入居されない地下などは、駐輪場としての可能性がないかということも、広く求めているところですので、そういうことも含めて情報を提供いただければと思います。

道路空間、特に歩道空間を自転車が占めていますので、歩いて楽しいまちにはなっていません。ぜひ、この自転車を地上の歩道から消していきたいと思います。自転車の利用を禁止するのではなくて、自転車を利用いただいて、適切な規模の駐輪場を設けて、そこに収容いただくということを、吉祥寺の大きな課題として、取り組んでいきたいと思います。

一方で、地下駐輪場の検討も進めていきますが、さまざまな工夫については、ぜひ皆様から具体的な場所の情報提供含めて、いろいろなアイデアをいただけたらと思います。

3. 吉祥寺図書館周辺の放置自転車について

【司会】

事前に2件ほどいただいたご意見がありますので、お読みします。「吉祥寺図書館の横と前は、図書館が休館の日、車が通れなくなりそうなくらい自転車があふれています。市長の考えはどうでしょうか」ということと、もう1件も、放置自転車のことでいただいています。

【市長】

確かに、自転車があふれては困りますが、収容する場所がありませんので、駐輪場の確保は、最優先して行うべきであると思います。図書館の前と横は、休館日だと、管理が十分でないということから、放置自転車が増えるのかと思います。ただ、それは基本的には放置し

てはいけない場所ですので、厳しく指導せざるを得ませんが、その根本的な解決としては、駐輪場確保を目指していくということだろうと思います。

4. 地下駐輪場の設置について

【ご意見】



公園通りの商業者である。私たちのところも一番大きな問題は駐輪問題ということで、歩道をきちんと歩けるようにしないと、回遊性が保てないということもあるし、防災上の意味からも大きな問題だ。駐輪場は、駅の近くにないと意味がない。土地の確保が難しいのはよくわかるが、思い切って地下につくるしかないのかと思う。

例えば、商工会議所の前の通りの地下を全部駐輪場にしてしまうのはどうか。放置自転車がなくなれば、歩道が大変歩きやすくて、安心安全にもつながるし、来街者も多くなる。駐輪問題については、早急に具体的な案を出して取り組んでいただきたい。地下構想は時間がかかると言われるが、差し迫った問題なので、一刻も早い実現に向け、案を出していただきたい。

【市長】

現在、荷捌き場、駐輪場が足りていないので、今想定しているのは、吉祥寺大通りと駅前広場と平和通りの地下ですが、この商工会館の前の通りについては、横断する幾つかの地下埋設物があり、通しではなかなか難しいという状況まではわかっています。ただ、部分的な利用というのは、可能性として残しておきたいと思います。

5. ロンロンの荷捌き対策について

【武蔵野商工会議所 稲垣英夫 会頭】

荷捌きについて、ロンロンの南側からパークロードに出る、西寄りの出入口があります。あそこを午前10時まで、ロンロンの駐車場として使えないかということをお願ひしているという話を聞きましたが、吉祥寺まちづくり事務所のほうで何か聞いていますか。

【吉祥寺まちづくり事務所 所長】

ロンロンの南側通路のお話かと思いますが、決定事項ということではなく、ロンロン側も、荷捌き対策をして、なるべく迷惑をかけないようにしたいということで、どこかできる余地はないかという中で、1つの検討事項とされているというだけで、正式な話ではないと思います。

【武蔵野商工会議所 稲垣英夫 会頭】

検討中ということですが、ぜひあそこをロンロンの開店まで、朝6時ぐらいから、荷捌き場として、市のほうで開放していただければと思いますので、よろしくお願ひします。

【吉祥寺まちづくり事務所 所長】

確かにロンロンさんも一生懸命ですし、また、南側のパークロード沿いの荷捌き場がない

ということもありますので、ロンロンさんがお使いになるのか、それともあの辺の方々が一
体になってお使いになるのか、その辺も含めて考える必要があるかと思えます。

6. 元町通りにおける放置自転車と荷捌き車両について

【ご意見】

元町通りの商業者である。元町通りが抱えている問題点は2つある。1つは、駐輪の問題、
もう1つは荷捌きの問題だ。駐輪の問題は、特に昼間は、元町通り商店会で係員を雇って整
理しているが、午後5時以降になると突如増えてくる。東急側のほう、りそな銀行とドト
ールコーヒーの前のあたりが特にひどい。約8mの道路幅があるが、下手をすると6mぐら
いが自転車・バイクで埋まってしまい、緊急の場合のことも考えると、危険な状態になっ
ている。解決するには、人を入れてやればいいが、元町通り商店会の現状としては、午後5時
から9時まで人を雇うような財政状況ではない。

荷捌きに関しては、昼12時までできることになっているが、元町通り商店街の事務所に、お客様から危険である
とクレームが来ている。元町通りは9時から12時までの
間、大変な荷捌き場になっている。元町通りだけの荷捌き
であればまだいいが、元町通りを基地にして遠方まで運ん
でいる状況だ。平和通りと並んで、吉祥寺の荷捌きの1つ
の中心部分にもなってしまった。障がい者の方から、車イ
スだと非常に危険という意見があるし、お年寄りの方から
も言われた。車イスの状態だと、トラックのタイヤが間近に入ってくるから、非常に怖い。



これを解決するため、地下駐車場、荷捌き場、駐輪場は、どうしても必要だ。今の吉祥寺
は、もう手遅れの状態だ。20年近く前、市の第三期長期計画に、地下駐車場の計画案があっ
たはずで、あれが進行していれば、今はもうでき上がっていてよい頃だ。それが何も手をつ
けていない状態で、現在に至っている。要するに20年遅れている。それだけに、問題が極め
て大きくなっている。早急に地下をつくってほしいという心境でいる。大至急で構想、着工
をお願いしたい。

【市長】

現状の荷捌きの時間帯は、店が開いている時間帯で、ベビーカーを押す方、車イス利用の
方にとって、トラックは大きなタイヤで圧迫感もあるし、大変危険を感じる車両です。その
辺のすみ分け、時間、場所も含めて、現在、「吉祥寺方式物流対策委員会」で、大いに議論が
されていると思いますが、今後に期待したいと思えます。

【吉祥寺活性化協議会 塚本真史 副会長】

荷捌き車については、駐車違反の取り締まりが、来年4月から、武蔵野や三鷹をはじめ、
三多摩地区全域で、民間委託により開始されます。この民間委託による取り締まりは、都心
では2年前から始まっていますが、警備会社などに委託するわけです。運転手が車から離れた
時点で即切符を切るというシステムです。運転手がただちに車を移動できる状況のときは
切りません。都心では、運送会社は2人乗車させて、1人運転手のところに座って、いつ

でも車を出せる状態にして、クリアしているようです。

そういう中で、荷捌きについては大変危険な状況です。これからどういう方向で解決していくのかということが、一番大きな問題です。荷捌きに関しては、もう10年近くいろいろやってきました。平成13年に、第1回の実証実験をやりました。一大手の運送会社が駅周辺にデポといいまして、荷捌きする場所を確保し、そこに荷物を全部降ろして、台車などに荷物を乗せて、各店舗まで配り、商店街には車をなるべく入れないようにするというのを始めました。



もう1つの大手の運送会社は、今年の春からですが、この近くにデポを設けて、そこから運び込むというのを開始しました。この大手2社については、昔から比べますと、大分よくなりました。他の運送会社はどうするかというと、例えば、荷物が1つであっても、街の中へ入ってきて、道路に停車して、荷捌きをやっているというのが現状です。これをいかに街の中に入れないようにするかということが大きな課題だと思います。今、市とも打ち合わせしていますが、来年4月までには、ある場所を確保して、そこへ各運送会社の荷物は置いていってもらい、あとはこちらでそれを受けて、台車、カーゴ、リヤカーなどで、各商店街に運びます。街中には極力、車を入れられないという方策が解決の1つの道になるのではないかと考えて、これを具体的にどうするか検討しています。

日本全国どこの街でもある問題ですが、大きく成功した事例はまだありません。そういう点で、吉祥寺がほかの地区より一歩先んじてやっていくことによって、安心安全なまち吉祥寺を目指そうと思います。危険な状況は、吉祥寺のまちとしては、非常にマイナスです。そのマイナスの部分の少しでも取り除くために、この荷捌きの問題は真剣にやっていかなければいけません。来年4月を1つの契機として、この吉祥寺方式を一歩ずつ進めていければと考えていますので、皆様のご協力により1日も早く進めたいと思います。

7. 地下利用について

【ご意見】

自転車の客も大事だが、そういうことだけだと、だんだん先細ってしまわないか。やはり地下を利用するには、地下のレベルは全部そろえて、例えば、三浦屋の入っている建物、その隣の西側の建物、コスモビル、レンガ館モールなどを東急、ヨドバシカメラ、西友の駐車場につなげたらどうか。市長にそういうお考えはないのかお伺いしたい。

【市長】

地下のレベルを調べましたところ、残念ながらバラバラなんです。当初は、地下のレベルを合せて、伊勢丹から全部つながるような話を聞いていましたが、今回の調査結果では、地下のレベルで凸凹があり、揃っていないんです。それをネットワークするというのは、極めて困難だと思いますが、道路の地下部分は利用できる場所がありますので、そののみを利用するような形にならざるを得ないかと考えています。

8. 駐車場について

【ご意見】

これだけのまちなので、公共駐車場が駅前にもあってよい。ムーパークは、暫定的なもので、あれがあるからよいと言うのでは困る。駅前のほうにあれば、かなり目鼻が立っているのではないかと思うが、その辺はいかがか。

【市長】

現在、吉祥寺には、民間の駐車場が2,000台ぐらいありますが、交通の道路網を考えると、吉祥寺へのアプローチは必ずしもよくない状況です。幹線道路の幅員がそれほど広くないということもあって、なかなか吉祥寺に行きにくいということもあります。これから吉祥寺に駐車場を設けていくかということについては、慎重な議論が必要かと思います。むしろ少し縁辺部に駐車場を設けて、一定程度の範囲は車を来させないような、そこから歩行やムーバスで、吉祥寺駅周辺にアプローチしてもらうほうが、よいのではないかという考えもあります。どうやって吉祥寺への集客の交通手段を確保するのかというのは、大いに議論をしていきたいと思っています。



9. 住民からの提案について

【ご意見】

中町に住んでいる。駐輪場の問題だが、私は中町から吉祥寺へ入るときにいつも人がいっぱい、自転車は走れない。だったら、その辺に置いて歩いて吉祥寺のまちの中に入っていたほうが楽かと思うときがある。地下は相当時間もかかるだろうから、緊急対策だったら、吉祥寺に入る前のところに駐輪場を作るという方法もあるのではと思う。

お年寄りや、買物がたくさんある方は大変だが、中道通りは、とてもよい舗装をされて道がきれいなので、若い方とか歩きたい方にもっと歩いてもらうようにしてはどうか。そういう少し離れた駐輪場を使ったら、商店街が割引するなど、商店街の方々に考えていただきたいと思う。

駅については、吉祥寺駅は改札口を間違えて出ると、ぐるっと回らないと反対側に行けない形なので、できれば改札口を出る前や電車を降りたところなどに、商店街の地図やパンフレットを置いてほしい。商店街に入ってからパンフレットを見るのではなくて、その前にそういうことがわかるものが必要だと思う。

利用者は些細なことをちょこちょこ思うが、こういうことを言う場がないので、もっと利用者の声が届くような、開かれた商店街の何かがあったらいいと思う。

【吉祥寺活性化協議会 本田拓夫 会長】

吉祥寺活性化協議会の窓口があります。遠慮なく、いろいろなご意見をください。坪単価の問題も、犬や猫の問題も、全部、協議会でやっています。何でも活性化になれば、お役に立てればいいなということでやっていますので、それなりの知恵を持ってお答えできるかと思っています。確かに駅前広場、案内する図面が全くないですね。



それと、ハード、ソフトの問題が大いに出ているんです
が、協議会は、商工会議所の稲垣会頭のほうから、今後観
光についても考えてくれと言われていました。吉祥寺の観光
を1つのテーマとして出していきたいと考えています。

観光という視点は、これからまちの魅力をアップさせて
いく方法であると思いますが、吉祥寺の観光には何がある
のかという質問も出していただきたいと思います。今のと
ころ、吉祥寺にはアニメがあるということで、1つのまち
のテーマとしたらよいのではないかと考えています。同時に、景気が後退したときに、商店
街が力を発揮しないと、吉祥寺の活性化にならないので、全南北の商店街でぜひ大きなイベ
ントをやってみたいと思います。現在やっている春秋のウェルカムキャンペーン以外に、「へ
え、さすが吉祥寺はすごいね」というイベントを公園から1つ、まちの中から1つやってみ
たいと考えています。

10. JR中央線特別快速の停車について

【ご意見】

吉祥寺本町に住んでいる。吉祥寺には、吉祥寺の人たちだけではなくて、中央線で他の地
域から来られている方が多いと思う。あまり駐車場をきれいに整備していると、かえって電
車で来るお客は来にくくなるのではないかと。きれいな駐車場を整備するよりも、何か知恵を
使ってシャッター通りにならないようにしていかなければいけない。中央線が立川まで高架化
されるが、吉祥寺を特別快速が停車する、便のいいところにしてほしい。これは市長がうま
くJRと折衝していただきたい。

【市長】

JRの吉祥寺駅に特快を停車させる件については、今までも要望はあったかと思いますが、
私が市長になってからは、具体的な要望活動はありません。特快を止めるとなると、さらに
プラットホームの増設が必要ということもあって、なかなか今の空間では難しいとお聞きし
ています。現在、隣の三鷹駅が特快の停車駅ということからも、JRからはなかなか難しい
という話は以前に聞いたことはあります。車の利用客もさることながら、鉄道の利用客とい
うことも大いに期待したいところですので、その辺の輸送力アップという視点から、JRに
対しまして、意見を言っていきたいと思います。

11. まちにふさわしい商業機能の誘導について

【ご意見】

ダイヤ街商店会の者である。今、アーケードの建替えをしており、近隣の商店街の皆様
にご迷惑をおかけしている。吉祥寺は、前から回遊性に優れているという消費者の声があり、
私どももそれを目指し、さらに進めようと思う。吉祥寺グランドデザインについて、「早急に
取り組むべき重要施策」の中で、「まちにふさわしい商業機能誘導」という表現がある。私が
吉祥寺グランドデザイン委員会に何回か出たときには、この話が出なかったように思うが、

これについて、ご説明いただきたい。

【市長】

吉祥寺グランドデザインの中で、「まちにふさわしい商業機能誘導」という項目について、今、テナントの入れ替わりなどが頻繁にあります。どんな商業施設でもウェルカムということではないと思います。吉祥寺ならではの魅力をかもし出すような商業施設の進出というのは、歓迎されるべきですが、逆にイメージに合わない、損なような出店については、ある程度控えていくような方向性が必要ということです。それをもう少し商店街単位で、その商店街の目指すべき商業施設の構成やイメージを定めて、それに基づいて、その店舗構成等を誘導できないかということで、「まちにふさわしい商業機能誘導」という形でここでは掲げたものです。



12. 大規模開発等の情報提供について

【吉祥寺活性化協議会 木村征司 商店部会長】

新しい建物を建設するとき、市に建築許可などをもらいに行くでしょうから、そういう情報が市に入ったら、なるべく早く商店街に提供してほしいと思います。もし東急・伊勢丹などの大型店が抜けるとしたら、役所のほうに話が行くと思うので、その際には、情報をまちに早く知らせてください。駅の問題も、今はもうこれが決まったような話で、我々が要望してきたのがどのぐらいまでクリアできているのかという情報が、まだ入ってきていません。一個一個のイベントの補助ということではなくて、まちづくり全体の情報をもっと積極的に発信してほしいと思います。

【市長】

市としましても、まちづくりをともにしていこうというスタンスですので、情報の早期提供、共有化は不可欠だと思います。民間の施設の内容を伝えるのは、なかなか難しい面もありますが、今回、9月の議会で「まちづくり条例」を定めることができました。その「まちづくり条例」では、一定程度情報を早めに地域にお伝えするという仕組みがあります。例えば、大きな土地の取引があれば、その情報を公開する等の話もありますし、ある一定程度の開発ですと、手続きをする前に地域に情報を提供する仕組みが制度としてできました。施行は来春4月1日からですが、「まちづくり条例」を使いながら、情報を的確に皆様にもお伝えして、その情報に基づいて対策をともに練っていかれたらと思います。

【武蔵野商工会議所 稲垣英夫 会頭】

吉祥寺駅の改修については、12月中に説明をするということになっています。市の技監と吉祥寺まちづくり事務所長と詳細を話し合っ、12月には説明するようにしたいと思います。

13. 井の頭公園について

【ご意見】

井の頭公園の件だが、外から見た場合、吉祥寺の魅力の半分以上は井の頭公園にあると思

う。武蔵野市として、井の頭公園について、何か吉祥寺のプラスになるような取り組みは考えているのか、お伺いしたい。

【市長】

私も井の頭公園は、吉祥寺に不可欠な大きな資源だと思います。井の頭公園が今91周年で、100周年に向かった大きな取り組みをしていこうということで、武蔵野市も三鷹市も参加し、地域の方々も参加する実行委員会が開かれています。



例えば、その1つとして、井の頭池の水をもっときれいにしよう、臭くない水にしようという取り組みも進めているところです。かつては武蔵野市に降った7割の水が井の頭池を満たしていたということもありますので、武蔵野市域に降った雨をいかに地中に浸透させていくかという取り組みが不可欠です。水害対策という面もありますが、環境面からも雨水浸透施設の設置を広く呼びかけています。

市内の小中学校全校にも、大型の浸透施設を設置している途中ですので、それが一定程度設置されれば、ある程度の効果が出てくると期待していきまして、100周年のころにはきれいな湧水、きれいな池に復活できればと思います。

井の頭公園と吉祥寺駅のアプローチというのが、明確でないということもあります。七井橋通りについては、幅員を広げていこうという計画もあり、現在、土地の買収は約40%進んでいます。ゆくゆくは、ある程度の幅員で歩行者が行き来できるようにしていきたいと考えています。それから、井の頭公園の緑と豊かな冷気を吉祥寺駅周辺に持ってこられないかと思えます。逆に、緑をもっと吉祥寺駅に持ってくる風の道なり、そういう形でとらえていけないかと考えています。

井の頭公園は、三鷹市と武蔵野市の両市にまたがる大きな公園ですし、吉祥寺駅に密接した公園ですので、井の頭公園の活性化を図りながら、今以上に魅力ある井の頭公園に改造していき、吉祥寺全体の魅力アップにつなげていければと思います。

14. 観光推進計画について

【武蔵野商工会議所 稲垣英夫 会頭】

市の観光推進計画の策定委員会を1年近くやりましたが、この計画の中で設立すると掲げた「観光推進機構」は、あれ以降どうなってしまったのでしょうか。我々としては全く話が聞こえてこないで、観光協会のようなものを早くつくって、この地に植えつけていったほうがいいと思います。そういう組織をできるだけ早くつくっていただきたいです。これは市のほうの指示待ちということで、我々は待っていますので、よろしくお願いします。

【市長】

武蔵野も大いに都市観光を広げていきたいと思っています。この都市観光というのは、吉祥寺だけではなくて、オール武蔵野市でさまざまな魅力的な資源があるので、それを市民の皆様に見ていただきたいし、それを多くの市外の方からも見ていただきたいと思っています。

「武蔵野吉祥七福神めぐり」も、都市観光の大きな1つであると思いますが、さまざまな

取り組みを積み重ねていって、武蔵野市全体の都市観光を推進していくということを目標として掲げています。組織をどうするのかという難しい課題がありますが、組織づくりを少し急ごうということで、近々に調整に上がる予定ですので、ご協力いただきたいと思います。

15. ひとにやさしい商店街づくりについて

【ご意見】

西久保に住んでいる。吉祥寺活性化協議会の会長や、まちづくりのスタッフの方々に1つ提案をしたい。自分は車イスに乗っているが、吉祥寺の商店街に、車イスとベビーカーのマークに、「気軽に声をかけてください」という文字の入ったステッカーを作って、お店1件1件にそのステッカーを貼ってもらうという、ひとにやさしい商店街づくりをしてはどうか。商店にもよるが、自分が中に入っているいろいろ見ることは困難である。ハード面を変えなくていいので、声をかけたら商店街の人が出てきてくれるようになればいいと思う。吉祥寺はひとにやさしい商店街だと、全部の商店街がそういうステッカーを貼ることで意識が高まっていけば、新しい観光になるのという提案だが、どういう可能性があるか教えてほしい。



ハード面を変えなくていいので、声をかけたら商店街の人が出てきてくれるようになればいいと思う。吉祥寺はひとにやさしい商店街だと、全部の商店街がそういうステッカーを貼ることで意識が高まっていけば、新しい観光になるのという提案だが、どういう可能性があるか教えてほしい。

【吉祥寺活性化協議会 本田拓夫 会長】

ひとにやさしいまちづくりは、吉祥寺活性化協議会でも絶えず訴えています。吉祥寺は、盲導犬の発祥の場所であり、盲導犬を大事にしようということも、この間、協議会の中でやっています。また、そういうことが人への親切につながるということと同時に、障がい者の方が歩きやすい通りにすることも含めて、自転車対策への取り組みを進める過程で、盲導犬のことをやり始めました。そのステッカーに関しては気づかなかったので、大変よい意見をいただいたと思いますので、今後の協議会の中で話をいたします。

【ご意見】

盲導犬が入ってきていいですよというステッカーはもう既にある。実は自分の店舗でも貼っている。ただ、車イスについては貼っていないので、これは今後検討していくべきところだと思う。

(5) 閉会のあいさつ

【吉祥寺活性化協議会 本田拓夫 会長】

貴重なお時間いただきまして、ありがとうございました。もう1～2回やらないと、なかなか理解されない部分もあるかと思ひますし、皆様が遠慮されていたこともあったのではないかと思ひますが、商店街の人間は、あくまでも商業者でありながら人間でござひます。人間のやることに関して、何の変わりはないつもりでおりますので、足りないところは一生懸命補っていきたくと思ひます。吉祥寺の商店街は、そういう商店街なんだということをご理解いただき、吉祥寺は「住みたい街ナンバーワン」の1つになっていることを感じていただければと思ひます。今日は本当にありがとうございました。



【市長】



遅くまでお時間いただきまして、ありがとうございました。何となく皆様、意見を出し損ねたのではないのでしょうか。おそらく、今日言われた以上に様々な課題を持っているかと思ひます。できればこの会に限らず、例えば、各商店会単位で膝をつき合わせる感じのほうが意見を出していただけるのではないかと感じました。呼んでいただければ、出前で市長がお伺ひしますし、一緒に本田会長も行けると思ひますので、ぜひそういう場を設けていただきたいと思います。

と思ひます。

吉祥寺というのは、武蔵野市にとっての大きな顔です。全国的には武蔵野市という名前より、吉祥寺という名前のほうが広まっていることもありますので、吉祥寺は元気でなければならぬと思ひます。さまざまな課題はありますが、それを共有して乗り越えていこうという意気込みで、これからも吉祥寺のまちづくりにご協力いただきたいと思います。

本日はご参加いただきまして、ありがとうございました。吉祥寺活性化協議会の皆様、ありがとうございました。

2. アンケートでいただいたご意見と市の回答・対応方針

分類	番号	ご意見	市の回答・対応方針
駐輪場	1	駐輪場整備を急いで実施してほしい。防災上も大事だ。	吉祥寺駅周辺の駐輪場には、現在、約9,500台程度の自転車を収容することができますが、まだ、駅周辺に乗り入れる自転車全体の台数には、対応しきれていません。特に、午後の買物客の時間帯になりますと、放置が増加します。この買物客用の駐輪場については、地元商店街の皆様のご協力もお願いしたいところですが、平成21年4月には、四層の立体駐輪場「吉祥寺駅大正通り北自転車駐車場」がオープンする予定であり、約460台分の自転車を新たに収容できるようになります。自転車を利用いただき、適切な規模の駐輪場を設けて、そこに収容いただくことを基本として、早急な解決に向けて、引き続き駐輪場の確保に努めていきます。
駐輪場	2	地下といったややこしいことではなく、単純に駅から離れた場所にも大型駐輪場を作り、駅から離れている分、当然利用料は無料、近くなるほど高くし、駅周辺は割高にしてもよいのでは。	市では、駐輪場用地の確保に全力を挙げていますが、なかなか価格などの条件の折り合いがつかず、新たな用地の取得には至っていません。しかしながら、既存の駐輪場を立体化する取り組みとして、平成21年4月には四層の立体駐輪場「吉祥寺駅大正通り北自転車駐車場」がオープンする予定であり、約460台分の自転車を新たに収容できるようになります。
駐輪場	3	夢物語と言われるかもしれないが、三鷹市に地下駐輪場があるのであれば、我が武蔵野市は駐輪ビルを考えてはいかがか。	駐輪ビル(立体駐輪場)についても、検討はしていますが、なかなかよい条件の土地がなく、新規に確保するには至っていません。しかしながら、既存の駐輪場を立体化する取り組みとして、平成21年4月には、四層の立体駐輪場「吉祥寺駅大正通り北自転車駐車場」がオープンする予定であり、約460台分の自転車を新たに収容できるようになります。
駐輪場	4	自転車駐輪場の確保を。吉祥寺図書館の前と横は、図書館が休館の日に、車が通れなくなりそうなほど、自転車があふれている。	吉祥寺図書館の付近においては、一時利用駐輪場もありますので、そちらをご利用いただきたいと考えています。また、駐輪場に止められないからといって、公道に止められた場合には、放置自転車として撤去を行なっています。
放置自転車	1	放置自転車に本当に困っている。個人の力では対応は無理。市が対応してくれないのであれば、税金も払いたくない。予算がなければ、放置自転車の撤去保管料を1～2万円にしてほしい。放置自転車をきれいに並べるためだけに市の予算を使ってほしくない。	市としましても、放置自転車については苦慮しています。平成20年の夏からは、土日にも撤去を行うようになり、撤去の回数は、増やしていますが、撤去を行っていない場所・時間によっては、放置されてしまいます。また、来街者や交通量の多い吉祥寺駅周辺では、土日の混雑時、放置自転車の撤去作業が安全面から困難な状況もあります。今後も地道に放置防止指導、警告の札付け等を行い、放置防止に努めていきます。

分類	番号	ご意見	市の回答・対応方針
駐車場	1	吉祥寺の店に買い物に来る人は周辺の人が多い。駐車場の整備は緊急な問題、早期の解決を図ってほしい。	自動車用の駐車場については、現在、吉祥寺には約2000台の民間駐車場がありますが、道路網を考えるとアプローチは必ずしも良くないこともあり、これから吉祥寺に駐車場を設けていくかについては慎重な議論が必要であると考えています。
交通問題	1	駐輪・駐車・荷捌きについて、行政の取り組み、認識は甘いと思う。どこかで大英断をしないといけないと思う。20～30年後のためにも。	<p>第四期長期計画・調整計画(平成20～24年度)では、7つの重点課題のひとつに「三駅前地域の駐輪場の整備と走行安全の確保」を位置づけ、「吉祥寺駅周辺の放置自転車問題の解決は、地下利用も含め、抜本的な検討をする必要がある」としており、市もこの問題を極めて重視しています。</p> <p>しかしながら、地上部分の用地確保が難しい状況ですので、地下利用の可能性について検討しています。一定の可能性があるのは、吉祥寺大通り・駅前広場・平和通りの地下部分ですが、費用対効果を含めて、どのような実現の可能性があるかを検討中です。</p> <p>自動車用の駐車場については、現在、吉祥寺には約2000台の民間駐車場がありますが、道路網を考えるとアプローチは必ずしも良くないこともあり、これから吉祥寺に駐車場を設けていくかについては慎重な議論が必要であると考えています。</p> <p>荷捌きについては、平成17年度から、地元関係者に呼びかけ、検討を重ねてきました。その検討結果に基づき、平成20年度には関係者による委員会が立ち上がり、吉祥寺のまちづくりの一環として、荷捌き対策を進めているところです。</p> <p>吉祥寺の回遊性を大切に、今後もまち歩きが楽しい吉祥寺であるために、これらの課題に取り組んでいきます。</p>
地下利用	1	<p>1. 吉祥寺北口ロータリーの地下利用 2. 元町通りの地下利用</p> <p>街中心部への車の乗り入れは規制すべきと考えます。CO₂(エコ)の観点からも、時代の流れではない。</p>	<p>集客のための交通手段については、大いに議論が必要などありますが、街中心部への車の乗り入れは単なる交通規制としてではなく、様々な工夫により抑制すべきであると考えています。</p> <p>また、地下利用については、平成18年度に実施した「吉祥寺地下現況調査」、平成19年度に実施した「吉祥寺駅周辺地下利用調査」の結果を踏まえて、平成20年度は、吉祥寺の回遊性を高めるため、バックヤード機能(駐車・駐輪・荷捌き施設など)の設置について、より具体的に検討を進めています。</p>

分類	番号	ご意見	市の回答・対応方針
駅周辺整備	1	<p>既存不適格建物の集合体である駅前マーケット地域は、防災上、防犯上また衛生面からもそのまま放置できない。この地域を交通問題の解決策となるべく利用することが望ましい。即ち高層な施設を設け、荷捌き場・駐車場・駐輪場・バスターミナル・タクシープール等を収納する。例えば、B2荷捌き専用駐車場・B1自転車駐輪場・1Fバスターミナル・タクシープール・2F(駅と繋いで)商業施設・3~5F駐車場・6F以上コモン・パスポート発行ほか。出入りは三菱信託銀行前より駅広場の地下を経由する。</p>	<p>ハモニカ横丁は、民間の一敷地内にある商業施設の集合体となっています。多くの権利者の方々が関わっていることから、ハモニカ横丁の関係権利者の合意形成等は、非常に困難な状況にあると伺っています。ハモニカ横丁の今後については、関係権利者の合意形成が図れるよう、市としても支援を続けていくとともに、関係者の方々と協議を続けていきます。なお、ハモニカ横丁の電気・ガスの整備については、現在、ハモニカ横丁を構成する各商店会の代表者と、東京電力・東京ガスの担当者及び市が参加した委員会を開き、検討を進めています。</p>
井の頭公園	1	<p>井の頭公園のアートピクニックは、吉祥寺でほとんどPRされていない。市報に掲載なし。パルコ裏の「建設現場」にポスターが貼ってあったのを見た程度である。 ・商店街：イベント資産として積極的に利用、便乗。 ・市：市民も楽しめるイベントとして周知してはどうか。</p>	<p>アートピクニックについては、「井の頭恩賜公園100年実行委員会」の事業であり、市も部会に参加しています。商店街の役員の方もこの委員会に参加されており、イベント資産として考えていただいているものと理解しています。また、市としても、今後、井の頭公園を中心としながらも、吉祥寺にも広がりを持つイベントとして発展していくべきものであると考えています。</p>
観光	1	<p>外国人の旅行者にも、もっと力を入れてください。</p>	
観光	2	<p>吉祥寺に引っ越してから、もう10年過ぎた。当時から外国の旅行者によく道を聞かれ、知らないうちに、吉祥寺の街案内人になってしまった。特に近年、中国語圏の旅行者数は、大幅に上昇しているのを感じているが、旅行者たちによると、吉祥寺駅を下車して→ジブリ美術館→少し立喰→下北沢、渋谷、新宿に行って旅行を続ける。つまり、吉祥寺の魅力は知らないままに、去った人が断然多い。今日の会議中は、このテーマは市長からも、商業者からも、全然聞き取れず、残念。私は10年以上、ずっと一人で宣伝をして案内をしてきた。</p>	<p>都市観光については、平成19年8月に策定された武蔵野市観光推進計画に基づき、取り組みを進めていきます。現在、組織の設立を関係者と検討しています。また、同計画においては、外国人観光客への施策として、「インターネットによる多言語対応の観光情報等の発信・多言語対応の観光マップの作成・多言語対応の公共サインの整備・市民と外国人が交流できるイベント等の検討」を掲げており、今後、検討すべき課題であると考えています。</p>

3. アンケートでいただいた感想

※アンケートの自由回答欄でいただいた感想のうち、主なものを掲載しています。

◆ 意見交換の内容について	
1	今日の市民の声は、一意見ではなく百の意見の価値があると思う。駐輪場対策は、ハードの側面が大きいため、時間がかかると思うが、早期解決を望む。また是非聞いてほしい。
2	すぐに実現しない地下のことばかりでは解決しない。
3	放置自転車などの問題解消＝魅力ではないような・・・。
4	住民の方からの意見がとても前向きですてきでした。是非、実現を。
◆ タウンミーティングの進行について	
1	質問事項を絞らないと質問しづらい。質問しやすいムードも必要。
2	市の職員の意見も聞きたい。

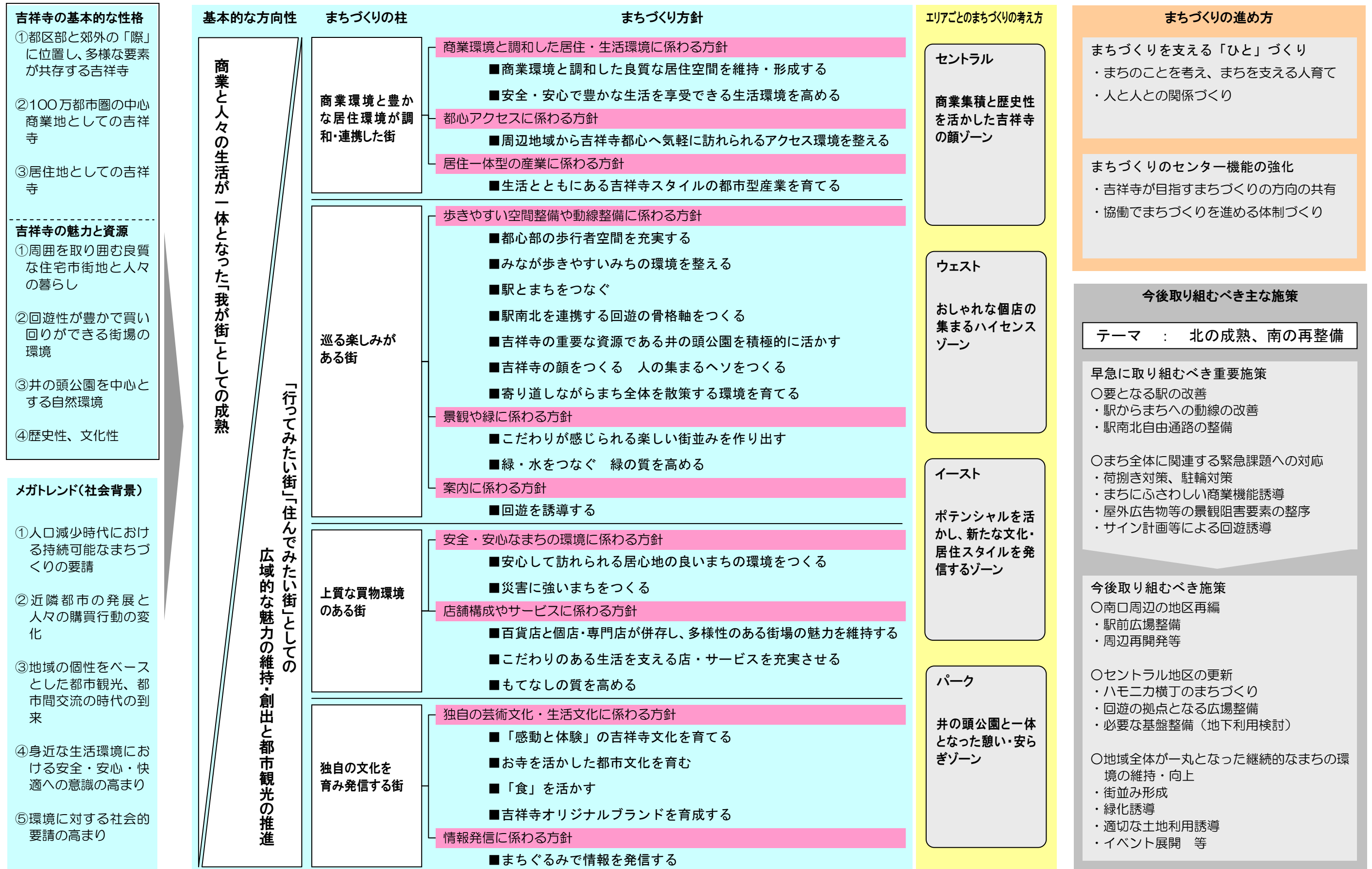
4. 付属資料

- ・ 吉祥寺グランドデザインの概要
- ・ 今後の吉祥寺のまちづくりの展開イメージ
- ・ 吉祥寺駅現状図
- ・ 計画案における1階及び2階の機能分担イメージ模式図
- ・ 吉祥寺駅改良計画図（1階・2階）
- ・ 市内商店会一覧
- ・ 第22回「商業者、市民と市長のタウンミーティング」ちらし

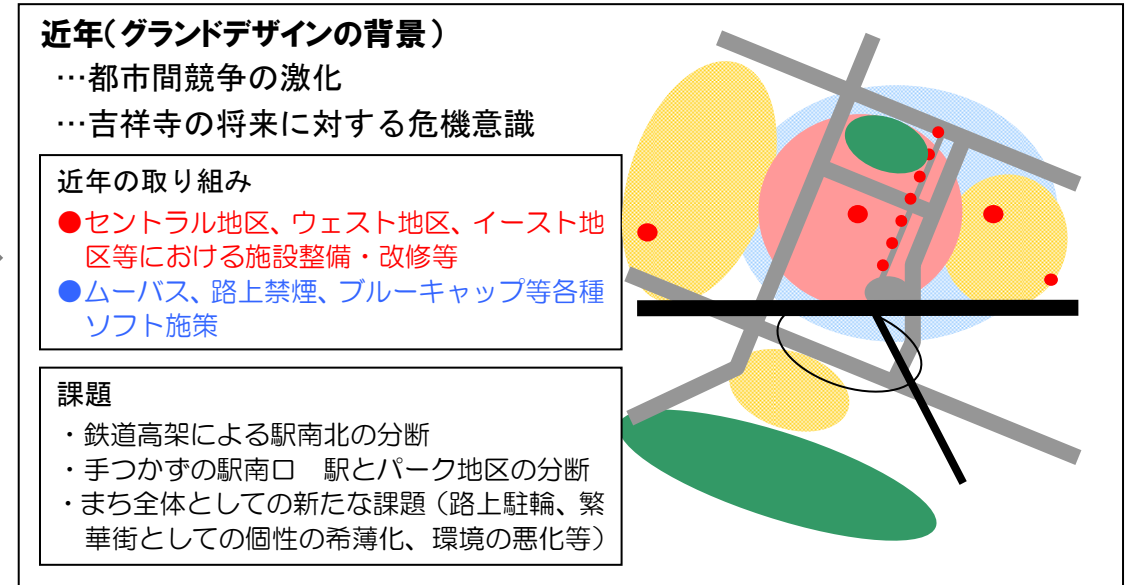
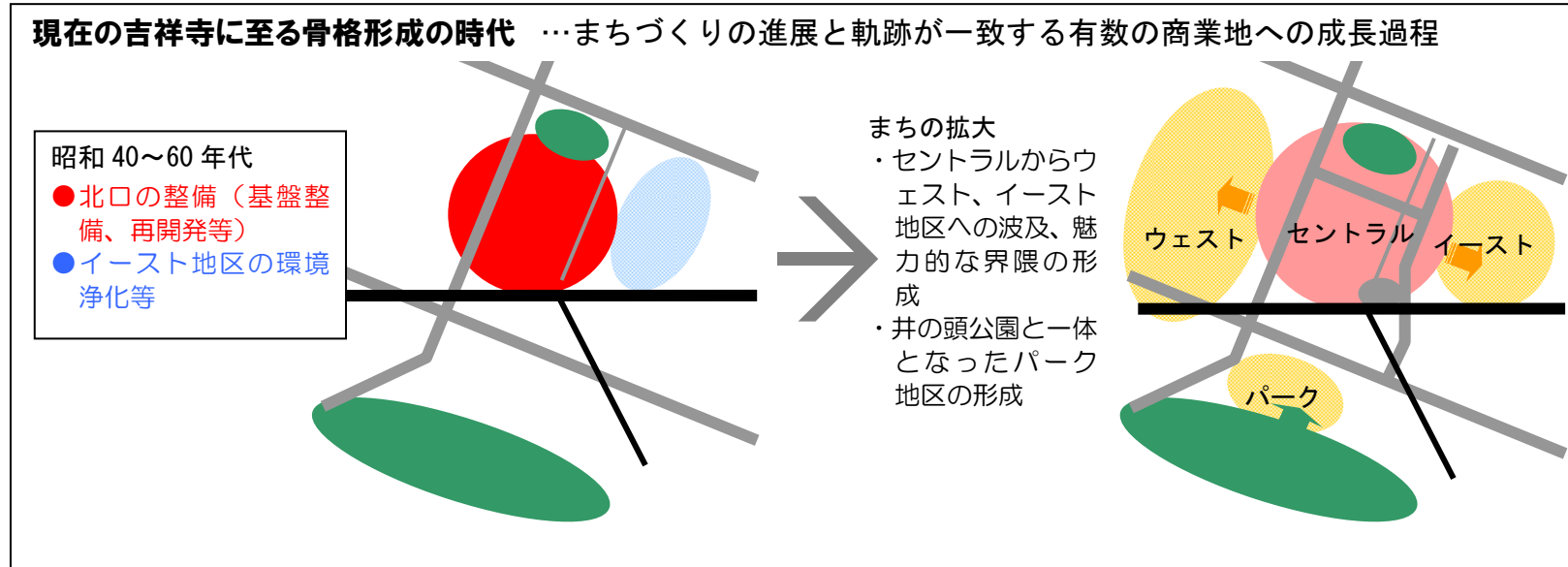
吉祥寺グランドデザインの概要

吉祥寺グランドデザインの位置づけ

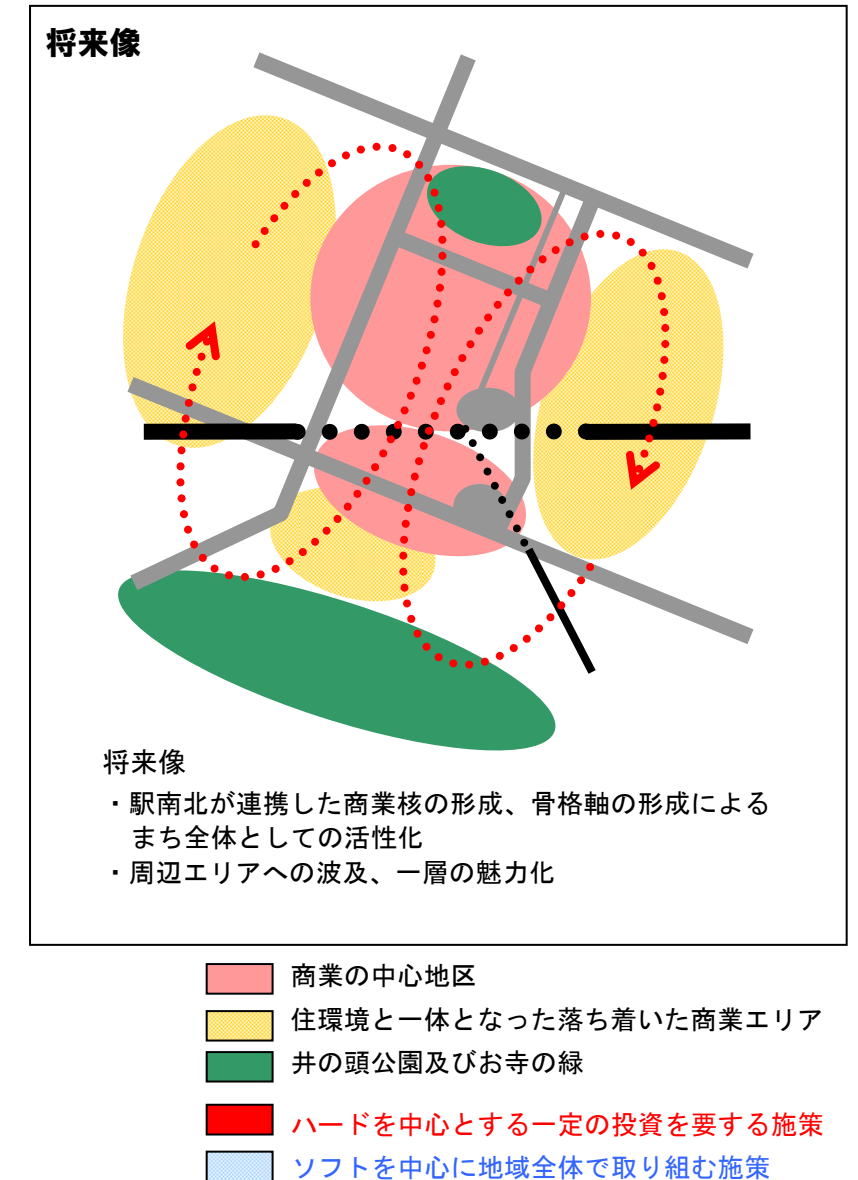
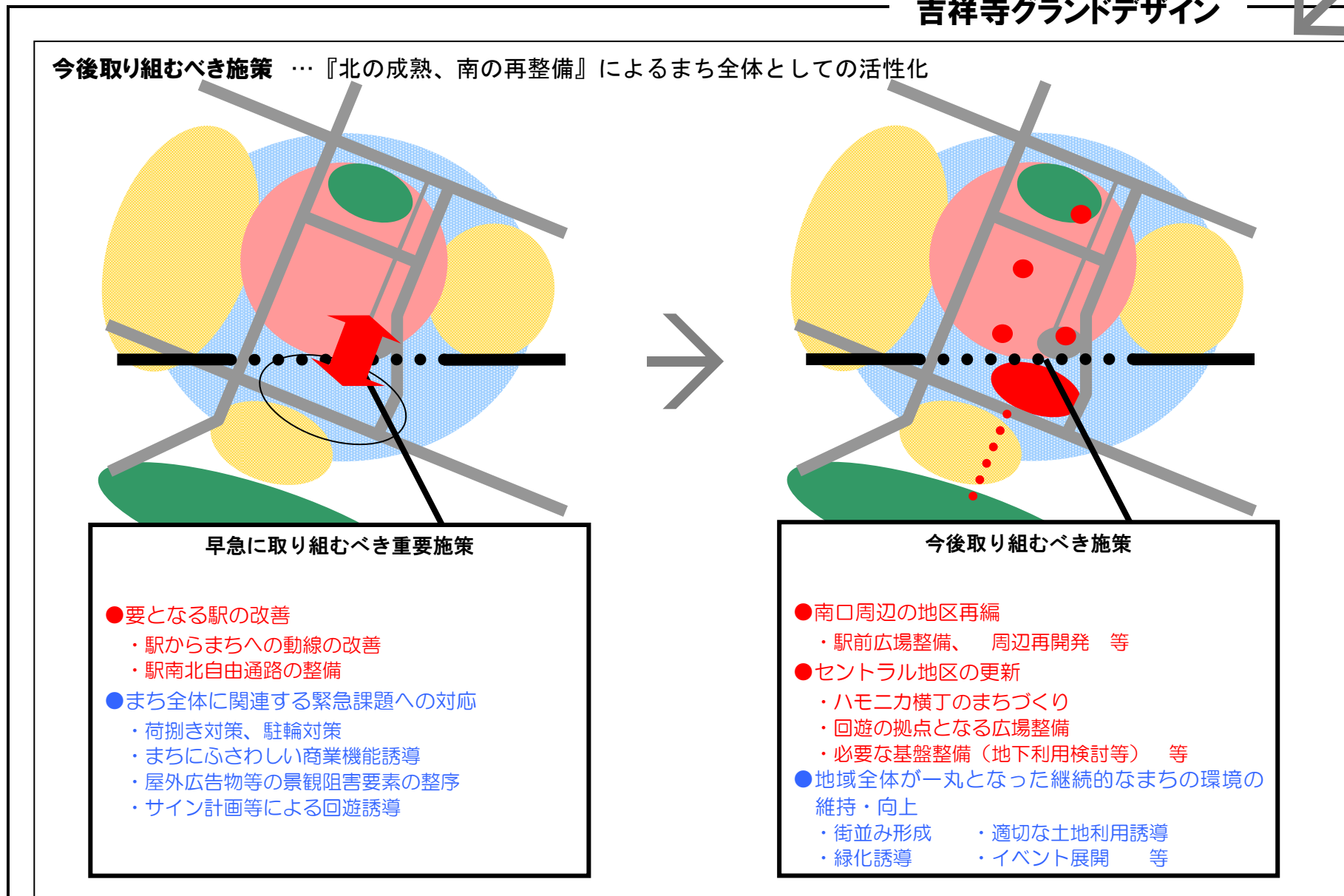
- ・「今後とも商業的に高い地域を維持するため、まちの再整備・再開発を行う。そして、このまちをさらに楽しく充実したものにするため、新たな吉祥寺の将来像（グランドデザイン）を、ハード・ソフトの両面から総合的に策定する」（武蔵野市第四期基本構想・長期計画より抜粋）
- ・主に駅を中心とする半径400m程度の都心エリアを対象に、多様な主体に共有される中長期的なまちづくりの方針を示すものである。個別施策提案も示すが、具体化に向けては別途検討の場を設ける。



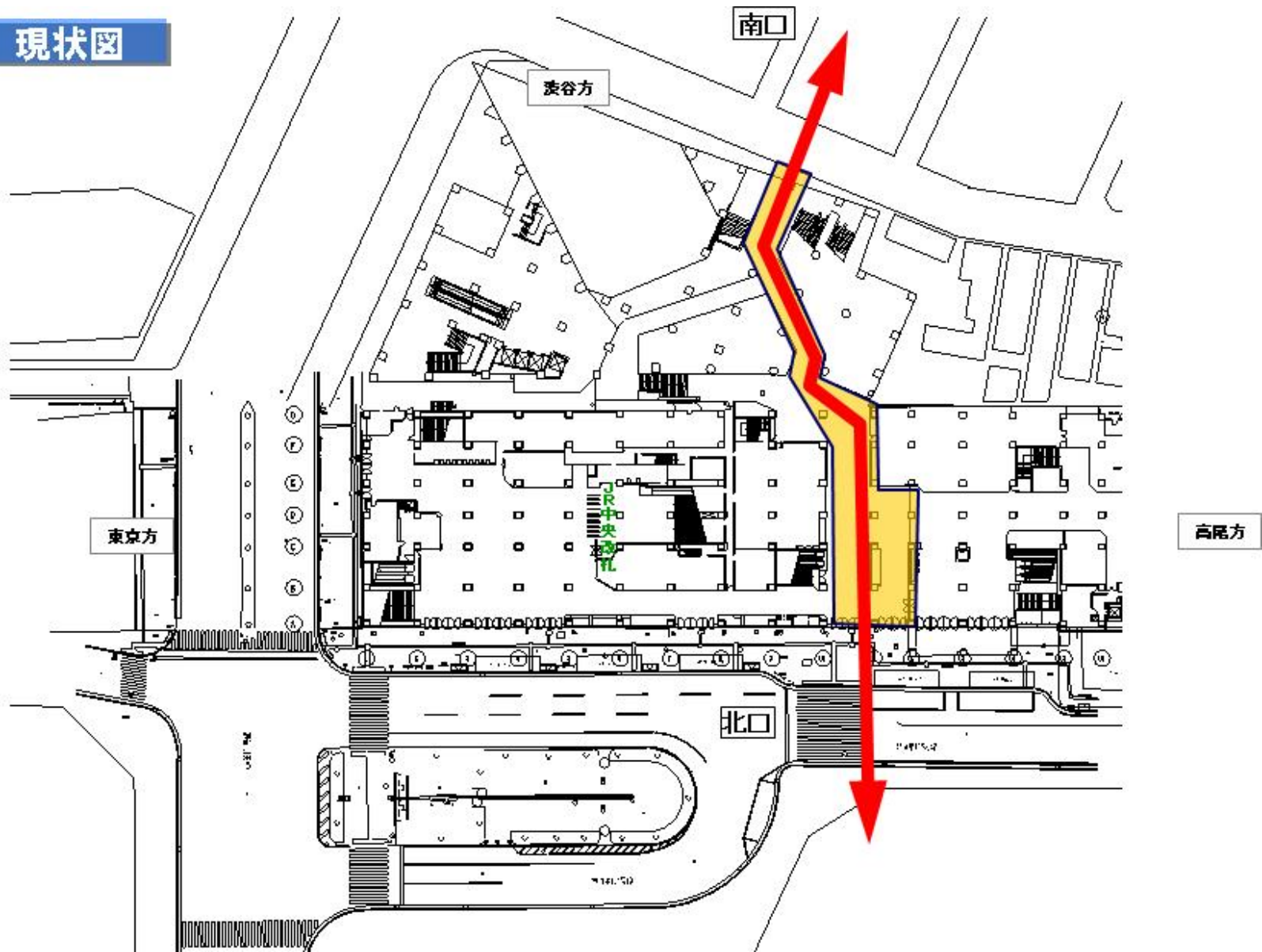
■今後の吉祥寺のまちづくりの展開イメージ



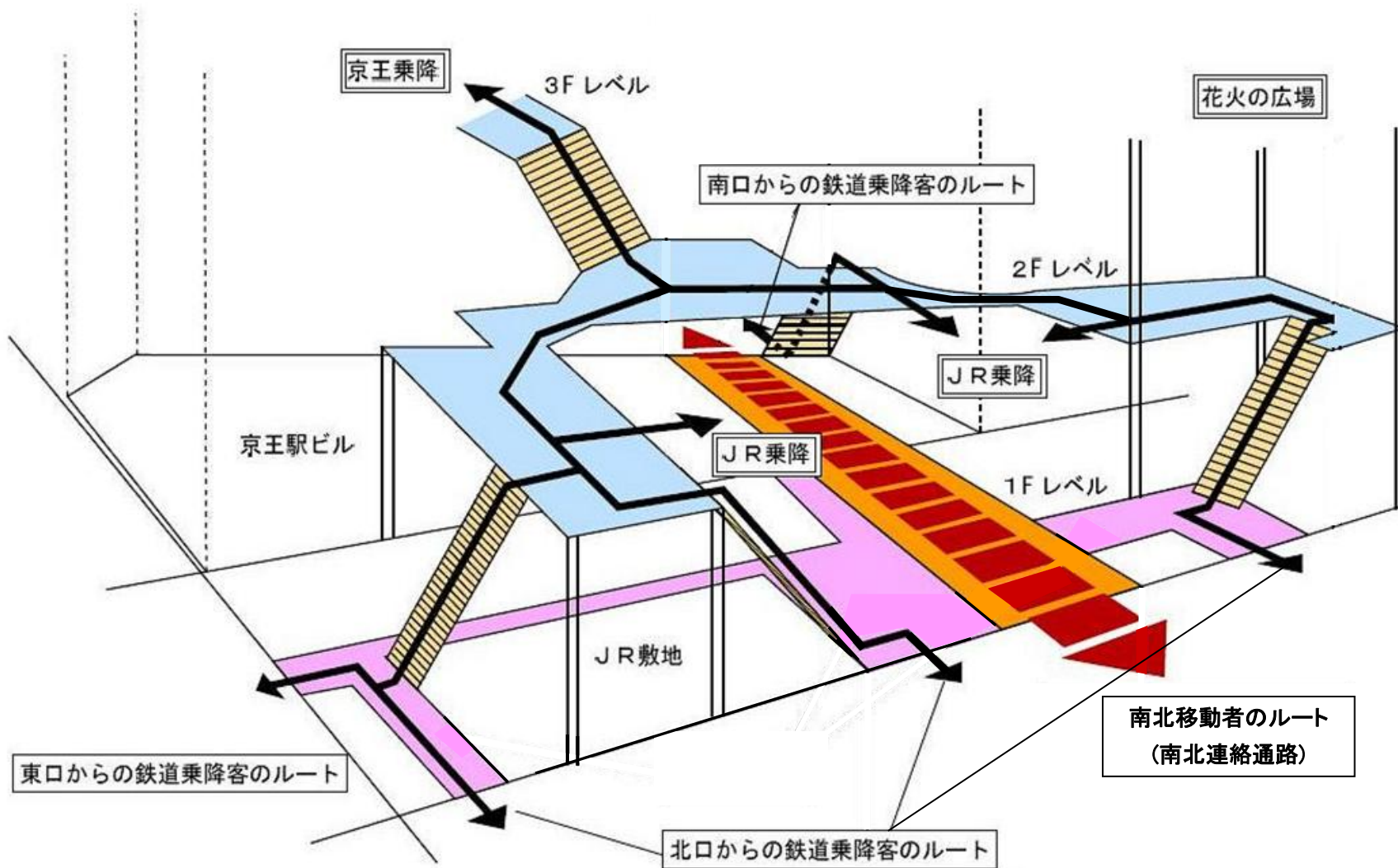
吉祥寺グランドデザイン



現状図



計画案における1階および2階の機能分担イメージ模式図



※今後の計画深度化により、内容が変更となる場合があります

吉祥寺駅改良計画図

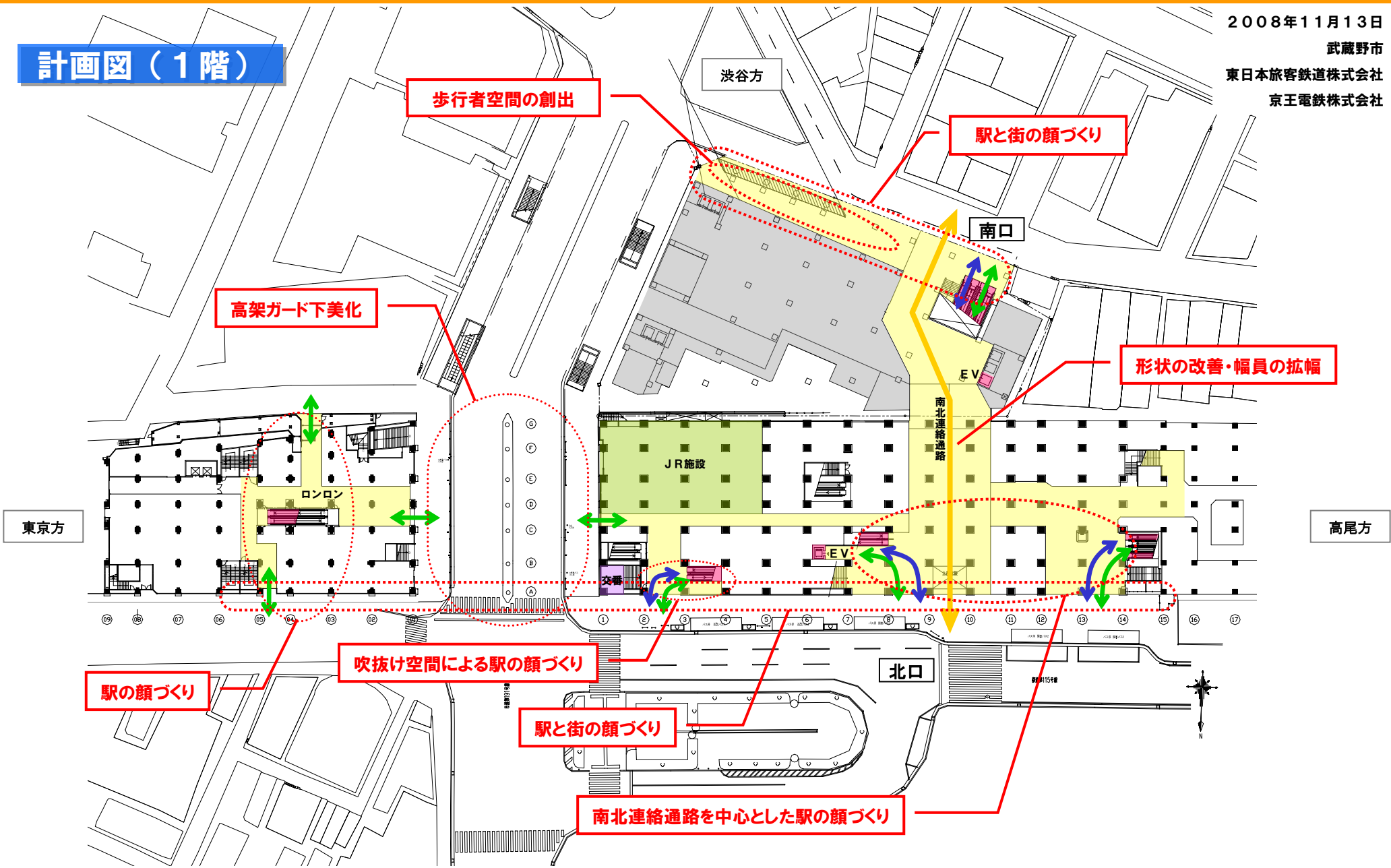
2008年11月13日

武蔵野市

東日本旅客鉄道株式会社

京王電鉄株式会社

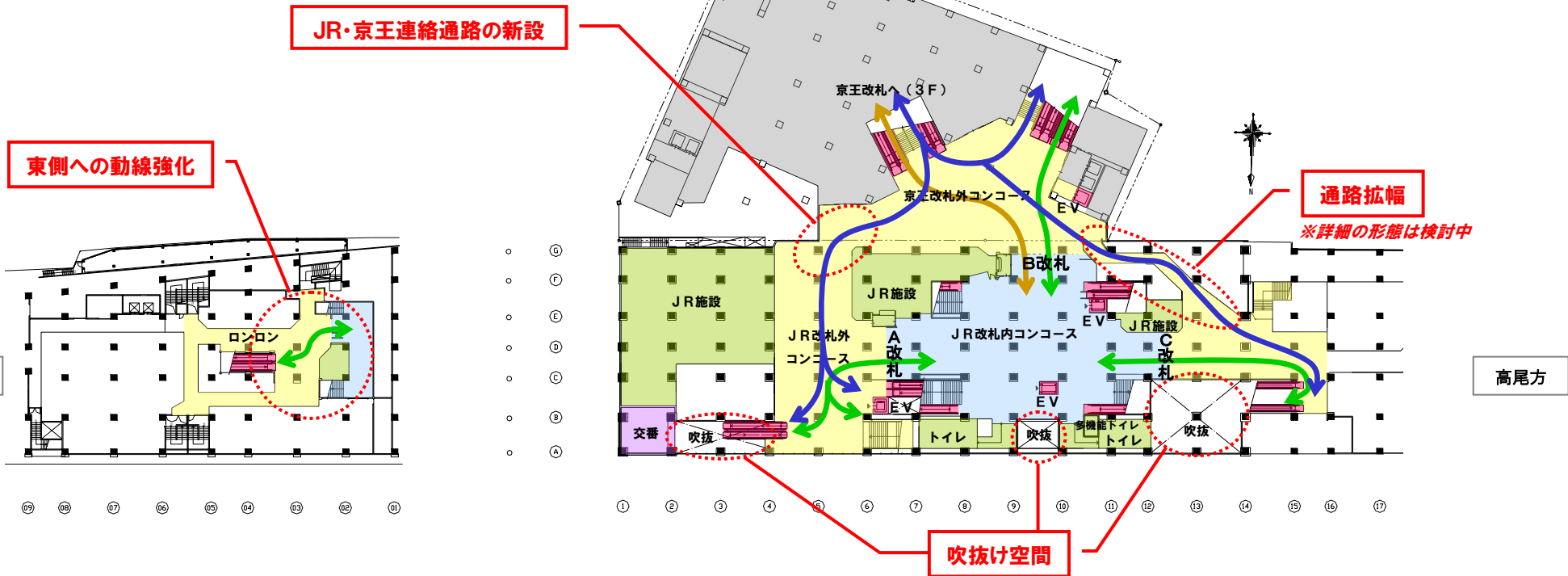
計画図（1階）



※ JR計画は今後の計画深度化により、レイアウトの詳細が変更となる場合があります。

※ 京王計画は現段階での基本構想であり、設計の進捗や市との協議により内容を変更する可能性があります。

計画図（2階）



※ JR計画は今後の計画深度化により、レイアウトの詳細が変更となる場合があります。
 ※ 京王計画は現段階での基本構想であり、設計の進捗や市との協議により内容を変更する可能性があります。

市 内 商 店 会 一 覧

商 店 会 名		商 店 会 名	
地 区	吉祥寺地区 (24商店会)	地 区	武蔵境地区 (12商店会)
1	井の頭通り商店会	41	桜柳会
2	吉祥寺末広協栄商店会	42	武蔵境駅前商店街協同組合
3	吉祥寺南口商店会	43	武蔵境温泉通り商栄会
4	吉祥寺パークロード商店会	44	武蔵境本町通り商工会
5	御殿山幸栄会	45	武蔵境独歩通り商店会
6	吉祥寺本宿東一会	46	西原三栄会
7	本宿商栄会	47	桜堤西商店会
8	協親会	48	桜堤中央商栄会
9	四軒寺町会	49	境南協栄会
10	八幡通り協栄会	50	緑盛会
11	稻荷町会	51	富士見通り商店会
12	吉祥寺サンロード商店街振興組合	52	境南中央商店会
13	吉祥寺北口駅前商店連合会		
14	ダイヤ街商店協同組合		
15	吉祥寺平和通り商店会協同組合		
16	吉祥寺元町通り商店街振興組合		
17	吉祥寺エフエフ商業協同組合		
18	ペニーレーン商店会		
19	吉祥寺レンガ通り商店会		
20	吉祥寺公園通り商店会		
21	吉祥寺大正通り商店会		
22	五日市通り親交会		
23	中道通り商店会		
24	吉祥寺女子大通り光会		
地 区	中部地区 (16商店会)		
25	中道第二商店会		
26	大野田商店会		
27	武蔵野中央会		
28	八丁商和会		
29	三鷹駅北口商店会		
30	三谷通り商店会		
31	中央通り西祥会		
32	西久保城山会		
33	西久保N T T通り商店会		
34	西久保商店会		
35	緑町商栄会		
36	グリーンパーク商店会		
37	緑町一番街		
38	宮前親交会		
39	延命寺通り商店会		
40	関前八幡町親交会		

※ 番号に網掛けのある商店会は、法人化されている商店会です。

第22回 商業者・市民と市長の

タウンミーティング

〈テーマ〉 吉祥寺の商店街振興について

【共催】吉祥寺活性化協議会・武蔵野市 【協力】武蔵野商工会議所・武蔵野市商店会連合会

主

役

は

市

民

で

す

期 日 平成20年11月26日(水)

時 間 午後7時～9時

会 場 武蔵野商工会館 市民会議室(4階)
住所：武蔵野市吉祥寺本町1-10-7

- ◆申 込 当日、直接会場へお越してください。
- ◆出席者 商業者、市民の皆様、市長、市関連部長
- ◆備 考 お車でのご来場はご遠慮ください。

「吉祥寺の商店街振興」について、
商業者・市民の皆様と市長が直接、意見交換を行います。
お気軽にご参加いただき、あなたの声をお聞かせください。

【問い合わせ】武蔵野市 企画政策室 市民協働推進課
TEL. 0422-60-1829 FAX. 0422-51-2000

吉祥寺の商店街振興について

～さらに魅力あるまちを目指して～

吉祥寺ブランドを活かした商店街づくり

吉祥寺情報発信

多様性のある商圈づくり

回遊できるわかりやすい商店街を

～吉祥寺駅周辺へのアクセス環境の整備～

自転車駐輪場の確保

違法駐車対策

放置自転車対策

交通渋滞の解消

当日参加できない方で、上記のことについて、市長にご意見・ご要望のある方は、下記枠内にお書きになり、市役所（2階）市民協働推進課、または各市政センターにお届けいただくか、FAXで市民協働推進課（0422-51-2000）にお送りください。

第 2 2 回

【テーマ別】

商業者、市民と市長のタウンミーティング
～吉祥寺地区の商店街振興～

報 告 書

発行 平成 2 1 年 1 月
武蔵野市企画政策室市民協働推進課
武蔵野市緑町 2 丁目 2 番 2 8 号
電話 (0422) 60-1829 (直通)